

## 資料14：医学教育に関する文献目録＜1982～1985年＞

日本医学教育学会

## 1982年

- 1) 梶戸健次郎：家庭医への卒後研修. 日本プライマリ・ケア学会誌, **5**(2): 138-140.
- 2) Lesny, I., Vlach, V.: チェコスロバキヤにおける小児神経病学の卒後教育. *Brain Dev*, **4**(6): 479.
- 3) 永田勝太郎：「死の臨床」のチーム作りと教育—バリエーション方式. 心身医学, **22**(6): 517-523.
- 4) 日野原重明：プライマリ・ケアと医学教育. 日本臨床, **40**(12): 2762-2774.
- 5) 馬場一雄：これからの周産期医学教育—小児科の立場. 周産期医学, **12**(6): 765-767.
- 6) 武田佳彦：研修医に対する周産期医学教育. 周産期医学, **12**(6): 771-774.
- 7) 杉山四郎：実地産婦人科医に対する周産期医学教育—グループ診療の立場から. 周産期医学, **12**(6): 775-779.
- 8) 永井 宏：実地産婦人科医に対する周産期医学教育—開業医の立場より. 周産期医学, **12**(6): 781-788.
- 9) 迎 俊彦：佐賀県における実地産婦人科医に対する周産期医学教育. 周産期医学, **12**(6): 789-792.
- 10) 重本弘定：Harvard Medical School, Affiliated Hospitals における Primary Care 研修の報告. 川崎医学雑誌, **8**(1): 1-10.
- 11) Ankeney, J.L.: 米国における胸部外科医の訓練. 日本胸部外科学会雑誌, **30**(4): 461-465.
- 12) 近藤 孝・他：救急医学教育におけるコンピュータ・シミュレーションの導入. 救急医学, **6**(2): 217-221.
- 13) 堀 原一・ME 他：新分野と今後—生涯教育のための CAI. 臨床医, **8**(6): 986-987.
- 14) 鈴木雅洲・他：わが教室における新入局者の教育. 産婦人科治療, **44**(4): 493-497.
- 15) 松木明知：医学教育の中の医史学—全国アンケート調査の結果から. 日本医史学雑誌, **28**(1): 72-75.
- 16) 西川瀨八：医学教育と保健所. 公衆衛生, **46**(2): 76-78.
- 17) 松野喜六：教育の場としての保健所への期待. 公衆衛生, **46**(2): 79-82.
- 18) 田原直広：Finish もなければ、拍手もない. 公衆衛生, **46**(2): 93-95.
- 19) 諸岡妙子：医学教育と保健所—「地域保健」実習14年. 公衆衛生, **46**(2): 102-105.
- 20) 菊地 浩：医学教育と保健所—地域保健実習を實踐して. 公衆衛生, **46**(2): 106-109.
- 21) 石館敬三：公衆衛生修学生の保健所実習. 公衆衛生, **46**(2): 110-115.
- 22) 山下 徹：POS 演習カリキュラム—医学生及び看護学生のための. 山形県立病院医学雑誌, **16**(1): 99-107.
- 23) 古賀洋介：Pennsylvania 大学の印象とカリキュラム. 産業医科大学雑誌, **4**(1): 127-132.
- 24) 岩金美佐子・他：皮膚科外来における実習指導の展開と今後の課題. 看護教育問題研究集録, **1**: 34-40.
- 25) 尾島昭次編：特集／試験問題—作り方を中心として、その良否に及ぶ. 医学教育, **13**: 6-54.
- 26) 尾島昭次：作問と試験にかかわる問題点. 医学教育, **13**: 7-9.
- 27) 真島英信：論述試験問題の作り方. 医学教育, **13**: 9-12.
- 28) 香川靖雄・他：客観試験問題の作り方—試験問題銀行と正答確率. 医学教育, **13**: 13-21.
- 29) 小野寺加代子：論述試験と客観試験の相関性. 医学教育, **13**: 22-24.
- 30) 尾島昭次：解題型試験問題の作り方. 医学教育, **13**: 25-28.
- 31) 植村研一：問題解決型試験の作り方と問題点. 医学教育, **13**: 29-31.
- 32) 堀 原一：統合カリキュラムにおける試験と評価. 医学教育, **13**: 32-34.
- 33) 鈴木淳一：卒前試験と国家試験—作問における問題点. 医学教育, **13**: 35-37.
- 34) 香川靖雄・他：自治医科大学における入学試験より医師国家試験にいたる学業成績の追跡調査. 医学教育, **13**: 55-63.
- 35) 内藤裕史：ECFMG 試験結果の国別大学別比較. 医学教育, **13**: 64-67.
- 36) 富地信弘：呼吸器疾患患者の面接. 医学教育, **13**: 68-72.
- 37) 中谷比呂樹・訳：保健医療要員カリキュラムの動向（その1）. 統合医学カリキュラム. 医学教育, **13**: 73-78.
- 38) 内藤裕史：医学教育における第2外国語のあり方. 医学教育, **13**: 99-101.
- 39) 高橋茂雄：医科大学生、看護科学生等に実施した YG 性格検査の結果についての考察. 医学教育, **13**: 102-106.
- 40) 土屋 滋・他：チーム医療実習4年間の検討—1年生および看護部からの評価推移の比較. 医学教育, **13**: 107-112.
- 41) 中谷比呂樹・他：WHO 西太平洋地域保健医療教員養成センター（RTTC）における保健医療要員教育修士課程. 医学教育, **13**: 113-119.
- 42) 中谷比呂樹・訳：保健医療要員教育カリキュラムの動向（その2）. 社会行動科学の医学教育カリキュラムの導入. 医学教育, **13**: 120-128.
- 43) 中川米造編：特集／創造性の教育. 医学教育, **13**: 179-200.
- 44) 中川米造：医学教育と創造性. 医学教育, **13**: 180-182.

- 45) 恩田 彰：創造性とはなにか。医学教育，**13**：183-186。
- 46) 若林 勲：医学と創造する心（試論）。医学教育，**13**：187-192。
- 47) 亀山貞登：創造性の測定。医学教育，**13**：193-196。
- 48) 本間三郎：高次神経活動と関連しての創造性。医学教育，**13**：197-200。
- 49) 中谷比呂樹・訳：保健医療要員教育カリキュラムの動向（その3）。地域医療学および予防医学の興隆。医学教育，**13**：201-208。
- 50) 香川靖雄編：特集／医師国家試験の現状と2，3の改善点。医学教育，**13**：225-269。
- 51) 香川靖雄：医師国家試験の妥当性。医学教育，**13**：226-228。
- 52) 高田 彰：医師国家試験の現状分析。医学教育，**13**：229-237。
- 53) 三谷一裕：多選択肢問題への新しいアプローチ「標準正答率」の提案とその応用（その1）。医学教育，**13**：238-250。
- 54) 齋藤泰一・他：多肢選択問題は果たして客観的評価法といえるか？医学教育，**13**：251-255。
- 55) 額田 繁：医師国家試験の合否規準。医学教育，**13**：256-257。
- 56) 箕輪良行・他：第一線医療（プライマリ・ケア）と医師国家試験。医学教育，**13**：258-263。
- 57) 堀 原一・他：ワークショップ“より良い客観試験をめざして”報告。医学教育，**13**：264-269。
- 58) 中谷比呂樹・訳：保健医療要員教育カリキュラムの動向（その4）。選択科目の興隆。医学教育，**13**：271-274。
- 59) 土屋 滋・他：チーム医療実習に対する看護サイドの見方。医学教育，**13**：279-283。
- 60) 中谷比呂樹・訳：保健医療要員教育カリキュラムの動向（最終回）。医学教育，**13**：379-382。
- 61) 山根洋右・他：環境保健医学教育における Community-based Education の試み。医学教育，**13**：329-394。
- 62) 福田勝洋・他：公衆衛生学における Simulation Exercise（模擬演習）。医学教育，**13**：395-398。
- 63) 三谷一裕：多選択肢問題への新しいアプローチ「標準正答率」の提案とその応用（その2）。医学教育，**13**：399-406。
- 64) 大宅浩次・他：医科大学生の態度構造—札幌医科大学における質問紙調査から。医学教育，**13**：407-412。
- 65) 前沢政次：「医療人間学」講義の試み。医学教育，**13**：413-416。
- 66) 三戸秀樹：夜間臨床検査技師学校における学生の疲労—自覚症を中心に。医学教育，**13**：417-421。
- 67) 堀 原一：最近の米国医学教育についての2，3の問題—John Z. Bowers 博士との懇談。医学教育，**13**：432-434。
- 68) 日本医学教育学会編：医学教育白書1982年版。篠原出版。
- 69) 日本医学教育学会監：医学教育マニュアル3。教授—学習方法。
- 70) 日本医学教育学会監：医学教育マニュアル4。評価と試験。

## 1983年

- 1) 日野原重明：医師として的人格形成からみた卒前教育の問題点。Medicina, **20**(1)：146-148。
- 2) 河村洋二郎：わが国の歯科医学教育を考える—その問題点と対策についての考察。歯界展望，**61**(1)：141-146。
- 3) 西園昌久：わが国の精神医学教育の現況。臨床精神医学，**12**(2)：137-146。
- 4) 風祭 元：医学部における精神医学講義の問題点。臨床精神医学，**12**(2)：147-154。
- 5) 西尾友三郎：大学における精神医学実習の問題点。臨床精神医学，**12**(2)：157-162。
- 6) 中沢恒幸：精神科—医師国家試験と出題基準（ガイドライン）。臨床精神医学，**12**(2)：163-167。
- 7) 小泉準三：私の大学における精神医学教育（筑波大学）。臨床精神医学，**12**(2)：181-186。
- 8) 中尾弘之：私の大学における精神医学教育（九州大学）。臨床精神医学，**12**(2)：187-189。
- 9) 森 温理：私の大学における精神医学教育。臨床精神医学，**12**(2)：191-193。
- 10) 柿本泰男・他：私の大学における精神医学教育。臨床精神医学，**12**(2)：195-198。
- 11) 切替辰哉：私の大学における精神医学教育。臨床精神医学，**12**(2)：199-203。
- 12) 石井 奏：麻酔科における卒後研修。医療，**36**(11)：1116-1120。
- 13) 土肥信之：リハビリテーション医学の中でのプライマリ・ケア。総合リハビリテーション，**11**(3)：183-188。
- 14) 大川嗣雄：プライマリ・ケアとリハビリテーション医学—卒前教育を中心に。総合リハビリテーション，**11**(3)：189-194。
- 15) 織畑秀夫：医学教育のあり方。からだの科学，**110**：2-7。
- 16) 山下 徹・他：当院における初期臨床研修および関連教育病院臨床実習資料。山形県立病院医学雑誌，**17**(1)：152-168。
- 17) 吉村不二夫：医学における生涯教育の理念。日本医事新報，**3076**：43-47。
- 18) 河野邦雄：人体解剖実習その一つの試み「グループ実習」。解剖学雑誌，**58**(2)：81-85。
- 19) 日野原重明：臨床医学における卒後研修の原則と実践—オスラーに始まる米国の臨床研修の展開に学ぶ。日本医事新報，**3073**：43-50。
- 20) 風間 繁：米国，カナダの医学教育 I 医学教育の概要—基本的なデータ，教育制度，カリキュラム，その他について。北里医学，**12**(6)：499-508。
- 21) 鈴木荘一：プライマリ・ケアからみた卒前教育の問題点。Medicina, **20**(3)：478-482。
- 22) 小柴 健：わが国の泌尿器科卒後教育の現状について。臨床泌尿器科，**37**(4)：375-380。
- 23) 栗原照幸：神経内科卒後研修の実態調査—アンケート調査と今後の改善策。神経内科，**18**(3)：271-277。

- 24) 宇津木和夫：医学教育に何を望むか—現代の医学教育における教養課程の意義。東京女子医科大学雑誌, **53**(2): 80-84.
- 25) 串田つゆ香：医学教育に何を望むか—解剖学教育の現状。東京女子医科大学雑誌, **53**(2): 85-88.
- 26) 桜井靖久：医学教育に何を望むか—医学教育工学。東京女子医科大学雑誌, **53**(2): 89-97.
- 27) 林 久恵：医学教育に何を望むか—外科学教育の立場から。東京女子医科大学雑誌, **53**(2): 99-101.
- 28) 重田帝子：医学教育に何を望むか—放射線医の立場から。東京女子医科大学雑誌, **53**(2): 102-106.
- 29) 鎮目和夫：医学教育に何を望むか—よい医師の養成。東京女子医科大学雑誌, **53**(2): 107-109.
- 30) 三井香児：医科大学における救急医学教育—国立大学の立場から。公衆衛生, **47**(5): 278-282.
- 31) 小浜啓次：医科大学における救急医学教育—私立医科大学の立場から。公衆衛生, **47**(5): 283-290.
- 32) 小浜啓次：救急医学教育はどうあるべきか。救急医学, **7**(7): 912-915.
- 33) 安田峰生・他：発生物学実習への立体写真の導入。解剖学雑誌, **58**(4): 207-215.
- 34) 藤本十四秋：発生物学教育法。解剖学雑誌, **58**(4): 218-220.
- 35) 風間 繁：米国, カナダの医学教育Ⅱ 各校の入学選抜方法。北里医学, **13**(1): 1-8.
- 36) 日野原重明：医学教育。クリニカ, **10**(7): 558-560.
- 37) 谷 莊吉・他：医学教育におけるターミナルケア。診断と治療, **71**(5): 1009-1012.
- 38) 塩川優一：医学教育における薬物療法学。月刊薬事, **25**(10): 1977-1983.
- 39) 福原俊一：医学教育を考える。より優れた臨床医の教育のために—日米の卒前教育の違い。Medicina, **20**(5): 844-848.
- 40) 松枝 啓：医学教育を考える—アメリカと比較して感じる日本の研修システムの問題点。Medicina, **20**(9): 1604-1609.
- 41) 風間 繁：米国, カナダの医学教育Ⅴ メイオー医科大学。北里医学, **13**(3): 155-160.
- 42) 風間 繁：米国, カナダの医学教育Ⅵ ケース・ウェスタン・リザーブ大学医学部。北里医学, **13**(3): 161-168.
- 43) 星野一正：「医学及び歯学教育のための献体に関する法律」の制定。医学のあゆみ, **126**(7): 704-706.
- 44) 山下 徹：臨床実習と問題解決力。山形県立病院医学雑誌, **17**(2): 179-182.
- 45) 風間 繁：米国, カナダの医学教育Ⅶ マクギル大学医学部。北里医学, **13**(4): 243-250.
- 46) 風間 繁：米国, カナダの医学教育Ⅷ ハーバード医科大学。北里医学, **13**(4): 251-257.
- 47) 児玉 泰・他：英米両国における卒業産業医学教育。産業医科大学雑誌, **15**(4): 469-480.
- 48) 西園昌久：卒前精神医学教育の課題。精神神経学雑誌, **85**(10): 696-701.
- 49) 切替辰哉：岩手医科大学の精神医学教育。精神神経学雑誌, **85**(10): 701-703.
- 50) 武市昌士：医学教育への行動科学の導入の目標とそのカリキュラム作製—佐賀医科大学卒前カリキュラムの場合。精神神経学雑誌, **85**(10): 703-706.
- 51) 若山浩史・他：1 卒前医学教育における精神科臨床実習のはたす役割—少人数グループでの試み。精神神経学雑誌, **85**(10): 707-709.
- 52) 風祭 元・他：精神科臨床実習の問題点—学生による評価を中心として。精神神経学雑誌, **85**(10): 709-711.
- 53) 山口成良：大学における卒後精神医学教育に関する全国調査資料とその考察。精神神経学雑誌, **85**(10): 718-722.
- 54) 皆川邦直・他：卒業教育と力動精神医学的診断面接。精神神経学雑誌, **85**(10): 722-726.
- 55) 山口直彦・他：大学病院における研修医制度の限界。精神神経学雑誌, **85**(10): 726-730.
- 56) 荒木富士夫：精神医学教育に求めるもの—Consultation-Liaison Service の実践を通して。精神神経学雑誌, **85**(10): 731-734.
- 57) 越川昭三・他：藤が丘病院内科臨床実習における学生評価の分析。昭和医学会雑誌, **43**(6): 727-731.
- 58) 鈴木庸夫：西ドイツの医学教育, 医療及び法医学活動。Yamagata Med. J., **1**(1): 109-118.
- 59) 加納保之：プライマリ・フィジシヤンの育成について。日本プライマリ・ケア学会誌, **6**(4): 247-251.
- 60) 田中 勲・他：防衛医大における「総合臨床医」のための初任研修計画と現実的問題の検討—研修者と指導責任者に対するアンケート調査を中心に。日本プライマリ・ケア学会誌, **6**(4): 292-296.
- 61) 方波見重兵衛・他：医師数および医師国家試験不合格数の予測に関する研究。公衆衛生院研究報告, **32**(2/4): 67-81.
- 62) 中川米造編：特集／留年。医学教育, **14**: 3-34.
- 63) 末広晃二：現代学生の留年。医学教育, **14**: 4-8.
- 64) 清水 強：医学生滞留問題に関する一考察。医学教育, **14**: 9-16.
- 65) 福山裕三：学年制における留年。医学教育, **14**: 17-21.
- 66) 中川米造・他：座談会／留年問題。医学教育, **14**: 22-34.
- 67) 尾島昭次編：特集／筆記試験以外の評価の進め方。医学教育, **14**: 70-112.
- 68) 尾島昭次：特集／筆記試験以外の評価の進め方—序。医学教育, **14**: 70.
- 69) 松浦健児：入試面接の技法と心得。医学教育, **14**: 71-75.
- 70) 三浦貞則・他：入学選抜における心理テストのあり方。医学教育, **14**: 76-79.
- 71) 植村研一：問題解決力養成をめざす口頭試問のあり方とその実際—Structured Oral Examinationを中心に。医学教育, **14**: 80-83.
- 72) 堀 原一：卒前臨床実習の評価。医学教育, **14**: 84-92.

- 73) 岩瀧 勉：卒後臨床行動能力の評価法. 医学教育, **14**: 93-103.
- 74) Ken Cox : Assessing Clinical Performance. 医学教育, **14**: 104-112.
- 75) 日本医学教育学会 国家試験ワーキング・グループ：医師国家試験の評価に関する研究—試験問題の妥当性調査. 医学教育, **14**: 117-127.
- 76) 今中孝信・他：総合病棟勤務中心の卒後研修カリキュラム—問題解決能力の教育の面からみた評価. 医学教育, **14**: 128-132.
- 77) 中川米造編：特集／医学教育と行動科学. 医学教育, **14**: 175-203.
- 78) 池見西次郎：行動科学と医学教育. 医学教育, **14**: 176-181.
- 79) 青木宏之：行動科学の卒前教育に関するアンケート調査. 医学教育, **14**: 182-186.
- 80) 石津 宏：医学教育における行動科学教育の事例(1). 医学教育, **14**: 187-190.
- 81) 永田勝太郎・他：医学教育における行動科学教育の事例(2)—医学生のための行動科学ワーク・ショップとエンカウンターグループ. 医学教育, **14**: 190-192.
- 82) 松永一郎：医科大学における行動科学の教育. 医学教育, **14**: 193-196.
- 83) 中川米造：教育資源の乏しい状況での行動科学学習カリキュラム案. 医学教育, **14**: 197-199.
- 84) 酒井 誠：佐賀医科大学における行動科学教育. 医学教育, **14**: 200-203.
- 85) 田中 勸編：特集／医学校における一般教育. 医学教育, **14**: 226-270.
- 86) 佐土原義博：一般教育とは. 医学教育, **14**: 227-229.
- 87) 岡 国臣：日本の医学教育における一般教育の変遷(戦前). 医学教育, **14**: 230-232.
- 88) 永原 茂：日本の医学教育における一般教育の変遷(戦後). 医学教育, **14**: 233-235.
- 89) 真島英信：わが国および外国の医科大学における一般教育の現状. 医学教育, **14**: 236-239.
- 90) 小西栄一・他：医学専門基礎としての一般教育の特徴—一般教育担当者からの見方. 医学教育, **14**: 240-247.
- 91) 柄川 順・他：医学専門基礎としての一般教育の特徴—医学専門教育担当者からの見方. 医学教育, **14**: 248-253.
- 92) 坂上正道・他：医学校における新しい一般教育教科. 医学教育, **14**: 254-259.
- 93) 田中 勸・他：座談会／一般教育の問題点とその解決策を探る. 医学教育, **14**: 261-270.
- 94) 三谷一裕：“マグラエタリ”のない形式, 「type X'」. 医学教育, **14**: 404.
- 95) 斎藤泰一・他：現行医師・歯科医師国家試験問題の形式は能力評価に適さない. 医学教育, **14**: 405-409.
- 96) 那須郁夫・他：多肢選択テストの形式が実験者の得点に及ぼす影響. 医学教育, **14**: 410-418.
- 97) 北川龍一・他：筑波大学附属病院レジデントに対する泌尿器科手術研修. 医学教育, **14**: 423-426.
- 98) 今中孝信・他：総合外来におけるプライマリ・ケア教育の試み. 医学教育, **14**: 427-431.
- 99) 風間 繁：米国およびカナダの医学教育. 医学教育, **14**: 432-436.
- 100) 日野原重明編：日野原重明座談集／医療と医学の新しい展開. 医学書院.

## 1984年

- 1) 阿部和夫：医学教育からみた臨床検査診断学と診療. 臨床病理, **32**(1): 5-12.
- 2) 牛場大蔵：医学教育と医療教育—明日の医療を担うものの教育. からだの科学, **116**: 2-5.
- 3) 星野一正：「医学及び歯学の教育のための献体に関する法律」に関する文部省の省令と通達. 医学のあゆみ, **128**(9): 594-599.
- 4) 平野 寛：川崎医科大学のプライマリ・ケア講座—総合臨床医学教室の現状と課題. クリニカ, **11**(5): 322-326.
- 5) 福原俊一：プライマリ・ケアの現状, 米国の現状と問題点—大学病院におけるプライマリ・ケア養成プログラム. クリニカ, **11**(5): 357-362.
- 6) 山下 徹・他：関連教育病院における医学部学生の臨床実習調査—救急実習と時間外実習について. 山形県立病院医学雑誌, **18**(1): 138-147.
- 7) 鈴木俊一・他：プライマリ・ケアに必要な初期臨床研修とその現状Ⅱ ローテート臨床研修の現状と将来像. *Medicina*, **21**(3): 507-514.
- 8) 藤井幹久・他：プライマリ・ケアに必要な初期臨床研修とその現状Ⅲ 臨床研修病院の現状. *Medicina*, **21**(4): 724-729.
- 9) 宮崎正夫：救急医学教育の現状と問題をさぐる—京都府立医科大学の現状と問題点. 京都医学会雑誌, **31**(1): 77-84.
- 10) 菊地 真：医学教育とコンピュータ. 医学のあゆみ, **130**(3): 219-225.
- 11) Freedman, A.M.・他：精神医学教育の現況と将来精神神経学雑誌, **86**(5): 361-366.
- 12) Ropez-Ibor, J. J. Jr.: 総合病院精神科と精神科医トレーニング. 精神神経学雑誌, **86**(5): 367-370.
- 13) 西園昌久：日本における卒前精神医学教育の現状と問題点. 精神神経学雑誌, **86**(5): 380-385.
- 14) 細田裕康・他：新しい臨床示説用カラーテレビ視聴覚教育システム (IHT-M1) 型の開発. 口腔病学会雑誌, **51**(3): 544-550.
- 15) 山口成良・他：日本における卒後精神医学教育—金沢大学と他大学の比較. 精神神経学雑誌, **86**(5): 386-390.
- 16) 平野 侖毅：米国における小児科卒後教育. 日本医事新報, **3129**: 31-34.
- 17) 西 三郎：公衆衛生の研究・教育・実践. 公衆衛生, **48**(1): 4-8.
- 18) 安西 定：医学教育における現場認識. 公衆衛生, **48**(1): 19-23.
- 19) 森 俊二：大学における皮膚科(教育・研究の面より)—アンケート調査の集計. 皮膚, **26**(記録号): 79-89.
- 20) 神崎 保：欧米における皮膚科—その教育, 診

- 療, 研究. 皮膚, **26** (記録号): 91-95.
- 21) 香月秀雄: 医学教育の中の外科学. 日本外科学会雑誌, **85**(9): 873-877.
- 22) 村田雄二・他: 米国における卒前教育—特にレジデント制度について. 産婦人科の世界, **36**(7): 543-556.
- 23) 土屋健三郎: 産業医の養成. 公衆衛生, **48**(10): 689-693.
- 24) 高田 昂: 産業医の研修. 公衆衛生, **48**(10): 694-698.
- 25) 池見 陽・他: 医学教育における人間尊重のための体験学習の試み—共感能力と他者への尊重能力の促進方法とその効果. 産業医科大学雑誌, **6**(3): 265-271.
- 26) 山口成良: 日本における精神科卒後教育の現状. 臨床精神医学, **13**(7): 767-773.
- 27) 西園昌久: 精神科卒後教育のあり方. 臨床精神医学, **13**(7): 775-783.
- 28) 島園安雄: 精神科卒後研修の制度上の問題点. 臨床精神医学, **13**(7): 785-790.
- 29) Freedman, A.M.: アメリカ合衆国における精神科卒後教育. 臨床精神医学, **13**(7): 791-800.
- 30) 山内俊雄: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 大学病院精神科—北海道大学の場合. 臨床精神医学, **13**(7): 801-804.
- 31) 浅井昌弘・他: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 大学病院精神科—慶応義塾大学の場合. 臨床精神医学, **13**(7): 805-808.
- 32) 若林慎一郎: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 大学病院精神科—名古屋大学の場合. 臨床精神医学, **13**(7): 809-811.
- 33) 金沢 彰: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 大学病院精神科—愛媛大学の場合. 臨床精神医学, **13**(7): 813-815.
- 34) 太田保之・他: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 大学病院精神科—長崎大学の場合. 臨床精神医学, **13**(7): 817-819.
- 35) 中沢正夫・他: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 総合病院精神科—佐々木病院の場合. 臨床精神医学, **13**(7): 820-822.
- 36) 工藤義雄: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 総合病院精神科—大阪第二警察病院の場合. 臨床精神医学, **13**(7): 823-826.
- 37) 浅尾博一: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 精神科専門病院. 臨床精神医学, **13**(7): 827-829.
- 38) 村上 優・他: 初期研修カリキュラムの現状と Minimum Requirement 精神科専門病院—国立肥前療養所の場合. 臨床精神医学, **13**(7): 831-834.
- 39) 松元輝夫・他: 米国 Hahnemann 大学医学部外科における外科研修制度について I. 外科治療, **51**(3): 661-665.
- 40) 松元輝夫・他: 米国 Hahnemann 大学医学部外科における外科研修制度について III. 外科治療, **51**(5): 912-916.
- 41) 浅井輝信・他: 保存科臨床実習の実態調査. 愛知学院大学歯学会誌, **21**(2): 447-456.
- 42) 丸山勝一: 神経内科学の卒前・卒後教育について. 東京女子医科大学雑誌, **54**(10): 897-910.
- 43) 武市昌士: 卒前教育の経過を通してみた精神医学のむずかしさ. 九州神経精神医学, **30**(2): 191-194.
- 44) 柳田和弘・他: 精神科研修一年後の感想. 九州神経精神医学, **30**(2): 317-327.
- 45) 阿部正和: 医師の生涯教育. 日本医師会雑誌, **92**(9): 1519-1531.
- 46) 大貫 稔・他: 筑波大学医学生による難病患者の訪問実習. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(1): 31-34.
- 47) 鈴木俊一・他: プライマリ・ケアに要求される初期卒後研修. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(1): 63-65.
- 48) Stapleton, T.: 国家の発展との関連からみた小児科医の修練. *Acta Paediatr. J. Overs Ed.*, **26**(2): 129-131.
- 49) 石川堯雄: 歯科医学教育における基礎医学の在り方. 鶴見歯学, **10**(3): 391-397.
- 50) 柴田 進: プライマリ・ケア中心の医学教育. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(3): 173-179.
- 51) Fabb, W.E.: プライマリ・ケア医の生涯研修の世界的動向. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(3): 181-189.
- 52) 青山英康・他: 医師の生涯研修—現在と将来. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(3): 191-202.
- 53) 津田 司: 川崎医科大学におけるプライマリ・ケアの卒前卒後教育—その理想と現実. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(4): 247-251.
- 54) 伊藤清次: 医師の生涯研修—生涯教育の立場から. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(4): 252-257.
- 55) 石村 均: 医師の生涯研修—歯科医師教育の立場から. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(4): 262-265.
- 56) 前沢政次: 医師の生涯研修—プライマリ・ケア教育の新しい試み. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(4): 266-268.
- 57) 池田 博: 医師の生涯研修—医学生の立場から. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(4): 269-271.
- 58) 永井友二郎: 医師の生涯研修—実地医家の立場から. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(4): 272-273.
- 59) 佐藤 智: 地域ケアに係る人々の生涯研修—地域医療に係る医師の立場から—ライフケアシステムでの経験より. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(4): 277-281.
- 60) 佐野正人: 医師の生涯研修—医師会の立場から. 日本プライマリ・ケア学会誌, **7**(4): 258-261.
- 61) 菱沼典子: VTR の自己学習への活用—本学における実態と展望. 聖路加看護大学紀要, **10**: 45-50.
- 62) 船越正也: 卒前教育の目標と問題点—基礎教育の立場から. 歯界展望, **64**(3): 540-542.
- 63) 斎藤 毅: 歯学教授要綱の改訂にあたって. 歯界

- 展望, **64**(3): 543-545.
- 65) 関根 宏: 卒前教育の目標と問題点—臨床教育の立場から. 歯界展望, **64**(3): 546-549.
- 66) 石川富士郎: 卒前教育の目標と問題点—臨床教育の立場から. 歯界展望, **64**(3): 550-552.
- 67) 内海順夫: 卒前教育の目標と問題点—基礎教育の立場から. 歯界展望, **64**(3): 553-555.
- 68) 広谷速人: 島根医科大学の現在と未来—新しき大学への提案. 島根医科大学紀要, **7**: 11-43.
- 69) 高久史磨編: 特集/基礎医学教育. 医学教育, **15**: 4-29.
- 70) 高久史磨: 基礎医学教育. 医学教育, **15**: 5-6.
- 71) 養老孟司: 解剖学教育と人体のイメージ. 医学教育, **15**: 7-8.
- 72) 橋 正道: 生化学教育の問題点—とくに学生の能動的関心. 医学教育, **15**: 9-10.
- 73) 橋本達一郎: 統合カリキュラムにおける微生物学. 医学教育, **15**: 11-13.
- 74) 菊地 隼二: 基礎医学の教育担当者の立場から医学教育全般について考える. 医学教育, **15**: 14-17.
- 75) 西川 潤八: Public Health Minded な医師の養成. 医学教育, **15**: 18-19.
- 76) 館 正知: 基礎医学教育—教育現場から離れて思うこと. 医学教育, **15**: 20-21.
- 77) 宮崎 保: 人間を診るための基礎医学. 医学教育, **15**: 22-24.
- 78) 古川利温: 臨床医学教育との連携. 医学教育, **15**: 25-26.
- 79) 宇山昌延: Clinical Oriented の基礎医学教育を望む. 医学教育, **15**: 27-29.
- 80) 内藤裕史: 図書館からみた医学の特質. 医学教育, **15**: 36-38.
- 81) 林 茂: 「卒後初年度臨床研修目標案」を用いた卒後研修フォローアップ評価. 医学教育, **15**: 43-46.
- 82) 津川龍三・他: 泌尿器科教育における VTR Endoscopy について. 医学教育, **15**: 47-50.
- 83) 有田清三郎・他: 多肢選択テストにおいて受験者の誤った知識が得点に及ぼす影響. 医学教育, **15**: 51-53.
- 84) 犬塚貞光・他: わが国の問診録記載に関する教育の現状. 医学教育, **15**: 54-59.
- 85) 岩崎 栄・訳: 家庭医学教育カリキュラム 1. 1. 学生のための指導要項 (1). 医学教育, **15**: 31-35.
- 86) 岩渕 勉編: 特集/生涯教育. 医学教育, **15**: 72-124.
- 87) 岩渕 勉: 生涯教育. 医学教育, **15**: 73.
- 88) 日本医学教育学会生涯教育委員会: 地区医師会の生涯研修に関するアンケート調査報告. 医学教育, **15**: 74-78.
- 89) 石浜真治・他: 医学生涯教育への考え方. 医学教育, **15**: 79-85.
- 90) 畑尾正彦・他: 医師の生涯教育—病院勤務医へのアンケート調査報告. 医学教育, **15**: 86-91.
- 91) 中村 努: 三鷹市医師会の生涯教育の現状について. 医学教育, **15**: 92-94.
- 92) 田宮幸一・他: 地区医師会の生涯教育の実状—小樽市・会津若松・浦和市・足立区・倉敷各医師会. 医学教育, **15**: 95-98.
- 93) 高津和子: 望まれる卒前・卒後一貫した教育プログラムの確立. 医学教育, **15**: 99-101.
- 94) 橋本雄太郎: 生涯教育の中で医事法の自己学習を考える—クリティカル・インシデンス・アプローチ. 医学教育, **15**: 102-105.
- 95) 北井暁子: 米国における家庭医の生涯教育の現状とわが国の今後の生涯教育への対策. 医学教育, **15**: 106-108.
- 96) 岩渕 勉・他: 座談会/医師の生涯教育の実際と問題点. 医学教育, **15**: 113-124.
- 97) 岩崎 栄・訳: 家庭医学教育カリキュラム 21. 学生のための指導要綱 (2). 医学教育, **15**: 126-131.
- 98) 林 茂編: 特集/教育媒体. 医学教育, **15**: 177-220.
- 99) 林 茂: 教育媒体. 医学教育, **15**: 178-179.
- 100) 尾島昭次: 教育媒体 (総論). 医学教育, **15**: 180-187.
- 101) 力丸光雄: 聴覚機器およびその周辺. 医学教育, **15**: 189-192.
- 102) 青木孝雄: 視覚機器の効果的運用について—現状と問題点. 医学教育, **15**: 193-198.
- 103) 末武国弘: 人間教師と人間学習者との間の良いコミュニケーションの成立—KR とは何か. 医学教育, **15**: 203-206.
- 104) 須之部淑男: 次世代の視覚機器 (総論)—ニューメディア時代の医学教育. 医学教育, **15**: 207-213.
- 105) 林 茂: オーバーヘッドプロジェクター. 医学教育, **15**: 214-220.
- 106) 岩崎 栄・訳: 家庭医学教育カリキュラム 31. 学生のための指導要項 (3). 医学教育, **15**: 222-228.
- 107) 日本医学教育学会学部教育委員会: 医師国家試験の医学教育への影響に関する研究. 医学教育, **15**: 237-252.
- 108) 曾我部博文: 講義をしない医学教育—Newcastle 大学医学部の例. 医学教育, **15**: 254-260.
- 109) 橋高通泰・他: 医科大学における社会福祉の講義に関する調査. 医学教育, **15**: 269-274.
- 110) 今中孝信・他: レジデント制度の成立過程からみた卒後研修の必要条件. 医学教育, **15**: 275-279.
- 111) 福澤陽一郎・他: 環境保健医学教育における Community-based Education の試み (第 2 報)—コミュニティ・ヘルス・アプローチ実習. 医学教育, **15**: 280-286.
- 112) 石川友衛・他: 客観試験からみた生理学実習の効果について. 医学教育, **15**: 287-291.
- 113) 岩崎 栄・訳: 家庭医学教育カリキュラム 4. 2. レジデントのための教育要項 (1). 医学教育, **15**: 293-297.
- 114) 林 茂編: 特集/教授—学習方法. 医学教育, **15**: 390-437.
- 115) 林 茂: 教授・学習方法. 医学教育, **15**: 391.
- 116) 鈴木淳一: 教授—学習方法—医学教育における特

- 殊性. 医学教育, **15**: 392-394.
- 117) 久保田信之: 「教授-学習」論の意味-観念論からの脱却. 医学教育, **15**: 395-398.
- 118) 沼野一男: 教授工学の発想. 医学教育, **15**: 399-401.
- 119) 真島英信: 講義法. 医学教育, **15**: 403-405.
- 120) 星野一正: 実習法. 医学教育, **15**: 406-408.
- 121) 岩渕 勉: グループ学習. 医学教育, **15**: 413-417.
- 122) 梶田勲一: 行動体験学習. 医学教育, **15**: 418-419.
- 123) 豊川裕之: フィールド学習. 医学教育, **15**: 420-422.
- 124) 植村研一: プログラム学習. 医学教育, **15**: 423-425.
- 125) 畑尾正彦: 自己学習(自習). 医学教育, **15**: 426-428.
- 126) 田中 勲: ワークショップ. 医学教育, **15**: 429-434.
- 127) 鈴木莊一: 実地医家のための会の歩みと学習法. 医学教育, **15**: 435-437.
- 128) 岩崎 栄・訳: 家庭医学教育カリキュラム5.2. レジデントのための教育要項(2). 医学教育, **15**: 439-443.
- 129) 中川米造・他監訳: 医学教育と地域保健計画. 篠原出版.
- 130) 日本医学教育学会監: 医学教育マニュアル5. シミュレーションの応用. 篠原出版.
- 131) 伴 忠康: 医学のあゆみ-日本の医学教育によせて. 創元社.
- 1985年**
- 1) 青野 允・他: 大災害を想定した救急模擬訓練-医学部学生を中心として. 救急医学, **9**(2): 260-264.
- 2) 阿部令彦: 医師資格試験はいかにあるべきかその改善に向けて. 日本外科学会雑誌, **86**(2): 117-120.
- 3) 杉本 侃: 救急専門医の役割とその育成. 診断と治療, **73**(3): 369-370.
- 4) 立野勝彦: 専門科目教授法の実際-臨床医学. 理学療法と作業療法, **19**(4): 237-240.
- 5) 鈴木光明: 米国における小児科Ⅷ-医学教育1. 小児科臨床, **38**(2): 417-422.
- 6) 武田 敏・他: 性教育における医療関係者の役割. 周産期医学, **15**(2): 329-334.
- 7) 志村公男・他: 神奈川県におけるプライマリ・ヘルス・ケアの一環としてのスポーツ医学研修状況. 日本プライマリ・ケア学会誌, **8**(1): 51-54.
- 8) 松石久義: 医師の生涯教育について. 日本医師会雑誌, **93**(4): 755-760.
- 9) Mohler, S.R.: 航空医学教育基準, 航空機乗組員健康保護および大気圏医学教育. 産業医科大学雑誌, **7** (特集号): 53-56.
- 10) 鈴木光明: 米国における小児科Ⅸ. 医学教育Ⅱ. 小児科臨床, **38**(3): 655-658.
- 11) 西住昌裕・他: 健康教育に対する医師の意識調査. 公衆衛生, **49**(3): 203-207.
- 12) 小川珠美・他: 卒後一年目の教育計画の改善. 日本手術部医学会誌, **6**(2): 91-92.
- 13) 山本さゆり・他: 手術部看護教育へのVTR導入の試み. 日本手術部医学会誌, **6**(2): 93-94.
- 14) Mohler, S.R.: 航空医学専門医の教育. 産業医科大学雑誌, **7**(1): 1-7.
- 15) Howard, P.: 英国における航空医学の教育と訓練. 産業医科大学雑誌, **7**(1): 9-25.
- 16) Seidler, E.: 西ドイツにおける医史学教育について. 日本医史学雑誌, **31**(2): 161-164.
- 17) Snyder, M.: 看護婦養成における医師の教育とその遂行. 日本看護研究学会雑誌, **7**(4): 68-72.
- 18) 赤松英一: 卒業直後教育を考える-歯科研修医制度を実施した立場から. 歯界展望, **65**(7): 1495-1504.
- 19) 中沢恒幸: 精神医学臨床実習の実際と問題点. 精神神経学雑誌, **87**(3): 130-132.
- 20) 武正建一: 卒前の精神医学教育-ガイドラインに関連して. 精神神経学雑誌, **87**(3): 133-136.
- 21) 原田憲一: 精神科卒後教育の問題点. 精神神経学雑誌, **87**(3): 136-140.
- 22) 浅尾博一: 精神医学教育, 卒後教育, 卒後研修について. 精神神経学雑誌, **87**(3): 136-140.
- 23) 堀 原一編: 特集/女子医学生と女医. 医学教育, **16**: 1-55.
- 24) 堀 原一: 女子医学生と女医についての医学教育的問題. 医学教育, **16**: 6-7.
- 25) 中谷比呂樹: 女性医師の推移と現状. 医学教育, **16**: 8-13.
- 26) 堀口 文: 歴史的背景から考察した日本の女子医学教育について. 医学教育, **16**: 14-16.
- 27) 宮沢康朗: 男女差から個人の能力差時代へ. 医学教育, **16**: 17-18.
- 28) 西寺桂子: 男は度胸, 女も度胸-「女性医師の前線」を編集して. 医学教育, **16**: 19-21.
- 29) 肥塚典子: 実地医家としての女性. 医学教育, **16**: 22-24.
- 30) 藤井儂子: 医学部基礎系教育者としての女性. 医学教育, **16**: 25-27.
- 31) 吉利 和: 医学校における女子医学生の問題. 医学教育, **16**: 28-30.
- 32) 吉岡守正: 大学における女子医学生の問題-入試から卒業まで. 医学教育, **16**: 31-32.
- 33) 柴田洋子: 大学における女子医学生の問題. 医学教育, **16**: 33-36.
- 34) 全国女子医学生の会: 女子医学生をとりまく状況. 医学教育, **16**: 37-38.
- 35) 内田彰子・他: 女子医学生の career choice. 医学教育, **16**: 43-45.
- 36) 堀 原一・他: 座談会/医学教育のなかの女性. 医学教育, **16**: 46-55.
- 37) 戸倉康之: 黒板・白板・模造紙・掛図. 医学教育, **16**: 57-60.
- 38) 額田 繁: 医師国家試験問題の形式よりみた難易度(平均標準正答率)と合格率との関係. 医学教育, **16**: 92-96.

- 39) 支倉逸人・他：イラストによる学生の自己表現の開発. 医学教育, **16**: 101-104.
- 40) 藤本 博・他：医科大学入学試験における人物考査に関する研究Ⅰ. 高校調査書の利用について. 医学教育, **16**: 105-108.
- 41) 藤本 博・他：医科大学入学試験における人物考査に関する研究Ⅱ. 面接および心理テストについて. 医学教育, **16**: 109-113.
- 42) 中村雄介：プライマリ・ケアにおける自己学習プログラム. 医学教育, **16**: 115-121.
- 43) 星野一正：Note Taking. 医学教育, **16**: 132-134.
- 44) 日本医学教育学会学部教育委員会：試験の合格水準の理論と実際. 医学教育, **16**: 175-182.
- 45) 橋高通泰・他：医療社会福祉学の教授法に関する考察—学生へのアンケート調査を中心に. 医学教育, **16**: 183-187.
- 46) 石川友衛・他：医学教育課程のなかで文献検索法の教育についての試み. 医学教育, **16**: 189-193.
- 47) Darley-Usmar, V.M., et al.: The Teaching of Medical English in Japanese Medical Schools—A New Approach. 医学教育, **16**: 194-198.
- 48) 河野邦雄：ビクチャーカセット, 医学教育, **16**: 199-201.
- 49) 日野原重明編：特集／健康教育. 医学教育, **16**: 217-272.
- 50) 日野原重明：新しい健康教育. 医学教育, **16**: 218.
- 51) 山本幹夫：健康教育の理論的考察. 医学教育, **16**: 219-225.
- 52) 川田智恵子：健康教育の方略—企画, 実践とその評価. 医学教育, **16**: 226-229.
- 53) 池見西次郎：健康教育の中での行動科学の参与と実践. 医学教育, **16**: 230-233.
- 54) 村田光範：学校保健における健康教育の問題点. 医学教育, **16**: 234-238.
- 55) 木下安弘：学生の健康意識と健康教育の効果. 医学教育, **16**: 239-242.
- 56) 小谷 庸：地域医師会指導による住民の健康教育の実践. 医学教育, **16**: 243-245.
- 57) 岩崎 榮：病院活動としての地域住民の健康教育の実践. 医学教育, **16**: 246-248.
- 58) 山根至二：外来患者の健康教育—コンプライアンスの立場から. 医学教育, **16**: 249-252.
- 59) 竹村堅次：精神衛生領域における健康教育. 医学教育, **16**: 257-260.
- 60) 香川芳子：食事と健康に関する基礎的教育. 医学教育, **16**: 261-264.
- 61) 高橋堅一：歯科医による健康教育. 医学教育, **16**: 265-267.
- 62) 村井孝子：International Conference on Health Education の歴史, 現状, 日本の参与. 医学教育, **16**: 268-272.
- 63) 道場信孝：Simulator Model. 医学教育, **16**: 274-277.
- 64) 手塚統夫・他：医科大学入学試験における人物考査に関する研究Ⅲ. 評価員の性格の評価に及ぼす影響および有効な組合せについて. 医学教育, **16**: 377-383.
- 65) 山根洋右・他：予防医学教育における Family Health Practice の導入と展開. 医学教育, **16**: 384-393.
- 66) 山根洋右・他：予防医学教育における Family Health Practice の評価. 医学教育, **16**: 394-399.
- 67) 立澤 寧：CAI. 医学教育, **16**: 407-412.
- 68) 日本医学教育学会生涯教育委員会：大学における生涯教育アンケートによる現状分析. 医学教育, **16**: 426-430.
- 69) 津田 司・他：面接技法の教育法に関する検討. 医学教育, **16**: 465-468.
- 70) 山根洋右・他：予防医学教育における Family Health Practice のカリキュラム・デザインの検討. 医学教育, **16**: 469-475.
- 71) 風間 繁：アメリカ・カナダの医学教育. 篠原出版.
- 72) 静田 裕：基礎医学教育を考える—新設医科大学の現状と将来の展望. 篠原出版.
- 73) 池見西次郎・監訳：パレント方式による全人的医療の教育. 医学書院.
- 74) 厚生省健康政策局医事課監：臨床研修病院ガイドブック '86. 日本医事新報社.